

第3回学校運営協議会報告（広尾小学校）

令和2年度第3回運営協議会が令和3年1月25日（月）19：00から広尾町コミュニティセンター大ホールで開催されました。

1. 委員委嘱等

教育委員会から令和3年1月1日から令和4年12月31日を任期とする12名の学校運営協議会委員が委嘱され、委員の互選により会長と副会長が選出されました。

2. 学校関係者評価（自己評価の説明）

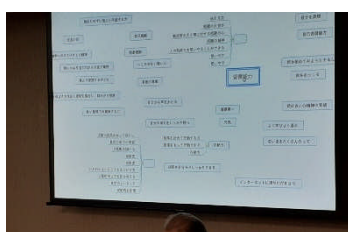
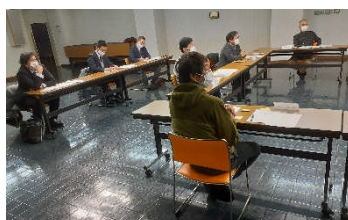
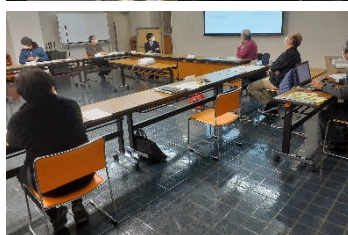
学校から教職員の自己評価が示されました。（次頁以降参照）

これに対する各委員の評価を集約し、学校運営委員会としての学校関係者評価報告書を学校長に提出します。

3. 熟議「育成したい資質・能力」

熟議で出された意見等は、来年度の学校運営の基本方針に反映されることになります。

氏名	備考（第8条関係等）
辻 田 廣 行	地域住民
足 立 清 洋	地域住民【会長】
土 屋 雅 敏	地域住民
末 永 裕 治	地域住民
芳 賀 紀 夫	地域住民
永 留 幸 子	地域住民
齊 藤 一 也	保護者【副会長】
山 田 雅 樹	保護者
高 桑 勉	保護者
佐 藤 寛 光	保護者
高 橋 敏 宏	校長
水 上 潤	教職員



【次の知識及び技能を身に付ける】

観 点	自己評価
ア、読むことを通して、語句の量を増やし話や文章の中で使えるようにする（国語）	- 音読の練習や機会を計画的に設定し、読む活動場面を増やした。 - 各单元の中に「言葉調べ」の時間を確保し、語彙力向上を図った。 - 例文づくりや作文の活動を意識的に活用し、正しい言葉の使い方の定着を図った。
ウ、広尾町の自然や産業についての知識を豊かにする（社会、総合的な学習）	- コロナの影響により外に出での活動が制限されたため、児童の実生活と結び付けた取組みを行った。また、「広尾町のパンフレットづくり」によりアウトプットを意識した学習ができた。 - 副読本や地域人材等の活用により多様な情報を知ることができた。
エ、既習事項をもとに、適切な順序により答えを導こうとする技能を身に付ける（算数）	- 既習事項を明確にした導入を行い、それを生かした問題解決的学習に取り組んだ。 - 順序よく考えることが難しい子もあり、更に指導方法の工夫する必要がある。

【次の思考力、判断力、表現力等を身に付ける】

観 点	自己評価
ア、目的を意識し、集めた材料を比較したり分類したりして伝え合う力を養う（国語）	- 説明文の教材を中心に、文章や資料の中から必要な情報を選ぶ指導を強化したことで、比較したり分類したりする力が身についてきた。 - 自分の意見をもつことができたことで、仲間に伝えようとする意識が高まってきた。
イ、見学や調査をしたり各種資料で調べたりして分かりやすくまとめる力を養う（社会、総合的な学習）	- 新聞づくりの活動を通してテーマにそったまとめを行うことができた。 - ポイントを絞った要約力は十分でなく、今後の指導の工夫が必要である。
ウ、目的に応じてデータを集めたり整理したりして、問題を解決するための判断力を養う（算数、理科）	「データの調べ方」の单元を中心に、資料からわかることや読み取れることを考えさせた。 - 理科実験では、「ふりこ」の学習で、実験結果を細かく分析し考えられることを話し合うことができた。

【次のような意欲や態度、人間性等を醸成する】

観 点	自己評価
ア、地域とのつながりを生かしながら、郷土愛をもって主体的に学ぶ態度を養う（社会、総合的な学習）	- コロナでの制限がある中、町の施設見学等を通して地域への関心を高めることができた。 - 漁業の学習や太鼓の学習（音楽）等で、地域の方に教えていただき、ふるさとへの関心が高まった。
イ、自分のよさを生かしながら、仲間と協力し助け合う態度を養う（道徳、行事）	- 延期された運動会では、競技等に制限がある中、みんなで協力し助け合う意識や態度を育てた。 - 道徳の授業では、自己理解・他者理解の指導を大切に行い、集団としてのまとまりにつながった。
ウ、学ぶことの意義や将来への夢や目標をもち、自己実現に向けてよりよい学校生活を送ることができる（特別活動）	- 学期ごとの目標や月ごとの目標を確認したり振り返ったりすることにより、学校生活への意識が高まった。 - めあてに対する意識の低い児童も見られることから、指導の工夫も必要である。

令和2年度 重点教育目標 「めあてをもって進んで学び、やりぬく子どもを育てる」		
項 目	取 組	評 定
校長 教頭	・ 重点教育目標の具現化、具体化の方策を的確に示す。	3
	・ 重点教育目標の達成に向けた取組を保護者、関係機関に示す。	2
	・ 計画的な学校評価の実施により、経営計画の改善に努める。	2
	【自己評価】 ・ 重点教材の選定を各学年の教諭が行うことで、年間を通した単元の指導の重点化や意識化が進んだ。 ・ コロナウイルスの影響による教育活動の変更もあり、自己評価にかかわるアンケート調査は2学期末となった。	
教務部	・ 指導の重点項目の授業時数を確実に確保する。	3
	・ 文章を読む活動を積極的に授業の中で取り入れるモデル化を図る。	2
	・ 道徳教育の重点に、「思いやり」「感謝」を設定し、指導計画、教材を提示する。	3
	・ 学習規律の見直しと指導の徹底を図る。	2
	【自己評価】 ・ コロナウイルスの関連で、音読を伴う活動がやや停滞してしまった。今後、指導を充実させていきたい。 ・ 各学年で道徳の授業を中心に「思いやり」や「感謝」の指導を大切に行うことができ児童の意識も高まった。 ・ 今後、タブレットの配置（児童に一台）もあることから、学習規律の見直しも重点に検討していく。	
指導部	・ 助け合い、支え合いを重点とした生活指導に努める。	3
	・ 命を守る意識を大切にしたり、安全指導や防災教育を推進する。	3
	・ めあてを明らかにした児童会活動を意図的に計画する。	3
	【自己評価】 ・ きまりを意識させる指導を継続したことで、相手を思い協力する心や好ましい人間関係を育てることができた。 ・ 地震、津波、火災等の避難訓練の実施により、防災や命を守る意識を高めることができた。 ・ 児童の自主性を大事にしながら、めあてにそった活動を計画実施した。今後は、達成感を実感させたい。	
保体部	・ めあてに合わせた体力づくり活動の推進計画を作る。	2
	・ 「ふるさと給食」を生かした食の指導を推進する。	2
	・ 地域と連携した体育的行事の企画、運営に努める。	3
	【自己評価】 ・ 広尾小の児童の実態に合った体力づくりや遊びを実践したが、はっきりとした推進計画の作成には至らなかった。 ・ 食育は広尾の漁業と同時に学習することになり深い学びになった。「ふるさと給食」は事前指導の工夫が必要。 ・ コロナウイルスの影響のある中での運動会は、感染防止に配慮しながら児童の活躍の場を工夫できた。	
研修部	・ 授業公開を中心にした校内共同研究を推進する。	3
	・ 教務部と連携し、広尾小授業スタイルのモデル化を進める。	2
	・ 各種研修会や研究会への意図的な参加による教育研修の充実を図る。	2
	【自己評価】 ・ 積極的な授業公開により共同研究が推進され、多くの教員の多様な意見が出され授業改善に成果があった。 ・ 授業スタイルのモデル化により、指導案が見やすくなり授業のスタンダードが共有できた。 ・ コロナウイルスの影響で各種研究会等が中止となる中、いくつかの学校の共同研究を学ぶことができた。	
事務部	・ 児童用PC、タブレットの管理や修繕に努める。	2
	・ 重点教材、備品の活用に応じた購入・整備に努める。	3
	・ 地域教材確保のための財政管理に努める。	2
	【自己評価】 ・ タブレットの保管場所の整理を行い、児童や教師が使いやすくなることできた。 ・ 年度当初から計画的な財務管理を進める必要がある。	

* 評価欄の数字は、3段階評価によるもの

1 学校経営方針・経営計画にかかわって

＊評価は4段階評価（4：十分達成 3：概ね達成 2：あまり達成できていない 1：達成できていない）

	評価項目	評価 平均点	評価内訳（人数）				
			4	3	2	1	未記入
1	学校経営方針の具現化を意識した学級・学年・分掌業務に努めている。	3. 2	5	22	0	0	0
2	地域の特色を生かした教育実践を図り、体験的活動の充実に努めている。	2. 8	4	14	7	1	1
3	特別支援教育の意義を理解し、児童個々のニーズに応じた指導に努めている。	3. 3	8	17	1	0	1
4	児童の一人一人に対する、基礎的・基本的内容の確実な定着に努めている。	3. 1	5	18	3	0	1
5	読書に親しむ環境整備に取り組み、読書の習慣化を図っている。	3. 0	5	16	6	0	0
6	道徳科（考え、議論する道徳）の授業の充実に努めている。	3. 2	6	17	2	0	2
7	挨拶や整理整頓等の基本的生活習慣の形成に向けた指導に努めている。	3. 1	7	15	5	0	0
8	いじめや問題行動等に対して児童理解に基づき、チームとしての適切な対応に努めている。	3. 3	9	17	1	0	0
9	体育の授業や全校的な体力向上の取組等を通して、体力の向上に努めている。	3. 2	8	15	3	0	1
10	災害等から命を守るための安全教育や防災教育の充実に努めている。	3. 2	7	19	1	0	0
11	コミュニティ・スクールの理念を理解し、その推進に努めている。	2. 9	3	19	5	0	0
12	日常的に保護者・地域との連携に努めている。	3. 0	4	20	3	0	0
13	定期的な安全点検の実施等により、安心・安全な教育環境づくりに努めている。	3. 5	13	13	1	0	0
14	教育公務員としての自覚をもち、服務規律の保持に努めている。	3. 6	15	11	1	0	0
15	働き方改革の主旨を理解し、時間外勤務の削減や業務改善に努めている。	2. 9	7	12	7	1	0

【意見等】

- ・学校力向上と働き方を共存させるのはなかなか難しい。
- ・学級経営等についてご理解とご支援いただきありがとうございました。「働き方改革」ということで、もっともっと精査できる点があるのではと思いました。
- ・先生方頑張っていると思いますが、今年度は、コロナにより内容によってはきびしかったのかと思う。
- ・基本的生活習慣の形成や学習規律の徹底等、全職員の共通理解のもと凡事徹底ができるかが大切。当たり前を当たり前にする児童、そして大人でありたい。

2 重点教育目標にかかわって

＊評価は4段階評価（4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：思わない）

	評 価 項 目	評 価 平均点	評価内訳（人数）				
			4	3	2	1	未記入
1	子どもたちは、学習や生活のめあてをもつことができている。	3. 2	8	16	2	0	1
2	子どもたちは、将来の夢や目標をもつことができている。	2. 9	3	18	5	0	1
3	子どもたちは、基本的な学習内容が定着している。	2. 8	5	12	9	0	1
4	子どもたちは、関心や意欲をもって学習に向かっている。	3. 2	7	18	1	0	1
5	子どもたちは、めあてに向かって粘り強く頑張っている。	3. 3	8	17	1	0	1
6	子どもたちは、仲間と協力して生活している。	3. 5	13	12	1	0	1

3 学校生活全般にかかわって

＊評価は4段階評価（4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：思わない）

	評 価 項 目	評 価 平均点	評価内訳（人数）				
			4	3	2	1	未記入
1	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	3. 5	12	14	0	0	1
2	子どもたちは、学校の決まりを守って生活している。	3. 1	6	17	3	0	1
3	子どもたちは、いじめのない学校生活を送っている。	3. 3	9	16	1	0	1
4	子どもたちは、進んで運動に取り組んでいる。	2. 9	8	7	11	0	1

4 次年度の重点教育目標にすべきこと

・自ら考え、行動する子ども（よくも悪くも、助けてもらいすぎている時があるので）		・表現力を高める
・コミュニケーション能力の育成	・思いやりのある子どもの育成	・自己肯定感、他者理解の充実
・課題、振り返り（学びを定着させる）	・読書（家庭、地域との連携）	・基本的な学習内容の定着
・挨拶、返事、思いやりなど人として当たり前のことを当たり前にできる子どもを育てる	・道徳教育の充実	
・体験的活動の充実	・礼儀。礼節に関すること	
・予測困難な時代において、自らの人生を切り拓いていく資質・能力として、自分の考えをもち、他者との交流を通してよく考え、行動する力が必要		
・自ら探求する子ども	・強い心と体（特に、体の部分）	

令和2年度

重点教育目標等にかかわる児童・保護者・教職員アンケート結果

広尾小学校

評価は4段階（4：そう思う、3：ややそう思う、2：あまり思わない、1：思わない）の平均数値です。
児童の平均数値は、「学校生活のふりかえりアンケート」のものです。

◇重点教育目標「めあてをもって進んで学び、やりぬく子どもを育てる」にかかわる項目

	対象	質 問 内 容	評 価
①	児 童	学習や生活のめあて（目標）をたてることができた	3. 4
	保護者	お子さんは、学習や生活でのめあてをもっている	2. 8
	教職員	子どもたちは、学習や生活のめあてをもつことができています	3. 2
②	児 童	自分（わたし）には、しょうらいの夢や目標がある	3. 4
	保護者	お子さんは、将来の夢や目標をもっている	2. 7
	教職員	子どもたちは、将来の夢や目標をもつことができています	2. 9
③	児 童	学習でならったことは、おぼえている	2. 9
	保護者	お子さんは、基本的な学習内容が定着している	2. 9
	教職員	子どもたちは、基本的な学習内容が定着している	2. 8
④	児 童	学習で、おもしろかったことやわかってうれしいことがある	3. 3
	保護者	お子さんは、関心や意欲をもって学習している	2. 8
	教職員	子どもたちは、関心や意欲をもって学習に向かっています	3. 2
⑤	児 童	めあてに向かって、あきらめずにがんばっている	3. 2
	保護者	お子さんは、めあてに向かって粘り強く頑張っている	2. 8
	教職員	子どもたちは、めあてに向かって粘り強く頑張っている	3. 3
⑥	児 童	みんなで考え、たすけあって生活している	3. 3
	保護者	お子さんは、友達と協力して生活している	3. 3
	教職員	子どもたちは、仲間と協力して生活をしている	3. 5

◇学校生活全般にかかわる項目

	対象	質 問 内 容	評 価
①	児 童	学校の学習や生活は楽しい	3. 3
	保護者	お子さんは、楽しく学校生活を送っている	3. 5
	教職員	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている	3. 5
②	児 童	学校のきまりをまもって生活している	3. 4
	保護者	お子さんは、学校のきまりを守っている	3. 0
	教職員	子どもたちは、学校のきまりを守って生活している	3. 1
③	児 童	いじめをはないで、みんなとなかよくしている	3. 6
	保護者	お子さんは、いじめのない生活を送っている	3. 5
	教職員	子どもたちは、いじめのない学校生活を送っている	3. 3
④	児 童	すすんで運動をし、からだを動かしている	3. 4
	保護者	お子さんは、進んで運動をしている	3. 1
	教職員	子どもたちは、進んで運動に取り組んでいる	2. 9